

第12回中期経営計画

Change For The Future

代表取締役社長 山本 仁

2020年4月2日



巴工業株式会社

経営理念と経営指針、第12回中経スローガン

経営理念

従業員に生きがいを見出す場を提供する。

高い技術と優れた商品を提供し、社会に貢献する。

創造と創業の心をもって会社を成長、発展させ、巴工業グループ各社に関連するすべての人々の豊かな未来を築く。

経営指針

ステークホルダーの信頼を第一と考え、誠実と感謝の気持ちを忘れずに、
絶えず自己革新を心掛け、起業家精神をもって新しい仕事に挑戦し、
 会社の発展と社会貢献を図る。

経営理念の実現のために経営指針の精神に則り、第12回中期経営計画は

「Change For The Future (将来のための変革)」

をスローガンに推進してまいります。

中期経営計画 外部環境認識

日本国内

足元は個人消費、設備投資、輸出の減少によりマイナス成長に転じている。

米国
底堅く推移。

中国
成長率こそ鈍化するものの、
堅調が見込まれる。



中期経営計画 基本方針

かかる状況下において当社が取る方針は

新たな取り組みへの
果敢な挑戦

柱となる事業分野の
ビジネス基盤の強化

**更なる業績向上
持続的な企業価値創造**

中期経営計画 数値目標

【金額単位：百万円】

	第90期（2019年10月期）実績		
	機械	化学	合計
売上高	11,250	30,105	41,355
営業利益	971	1,404	2,376
経常利益	-	-	2,384
EBITDA※	-	-	2,736
当期純利益	-	-	1,569
ROE（純資産利益率）	-	-	5.5%



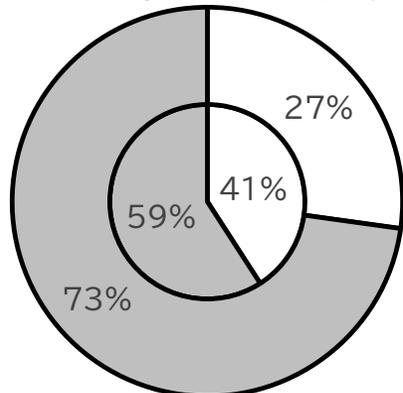
	第93期（2022年10月期）計画			90期比（%）
	機械	化学	合計	
売上高	14,000	35,000	49,000	+18.5%
営業利益	900	1,700	2,600	+9.4%
経常利益	-	-	2,600	+9.0%
EBITDA※	-	-	3,000	+9.5%
当期純利益	-	-	1,700	+8.3%
ROE（純資産利益率）	-	-	5.7%	-

【化学品】
海外展開を主軸に事業拡大
（詳細は次ページ以降参照）

【機械】
収益は機械販売の受注競争激化から
厳しいものの、将来の収穫のため拡
販（詳細は次ページ以降参照）

※EBITDA（利払前/税引前/減価償却前利益）

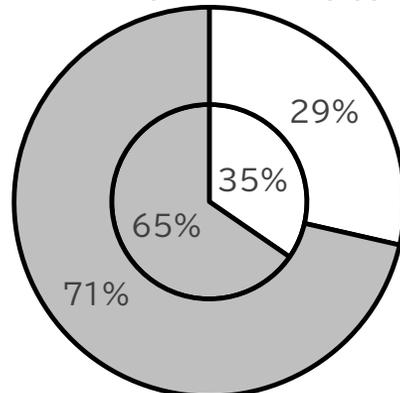
2019年10月期実績



※外枠：売上
※内枠：営業利益

□機械 □化学

2022年10月期計画



※外枠：売上
※内枠：営業利益

□機械 □化学

中期経営計画 事業別（機械）

①海外事業の拡大継続

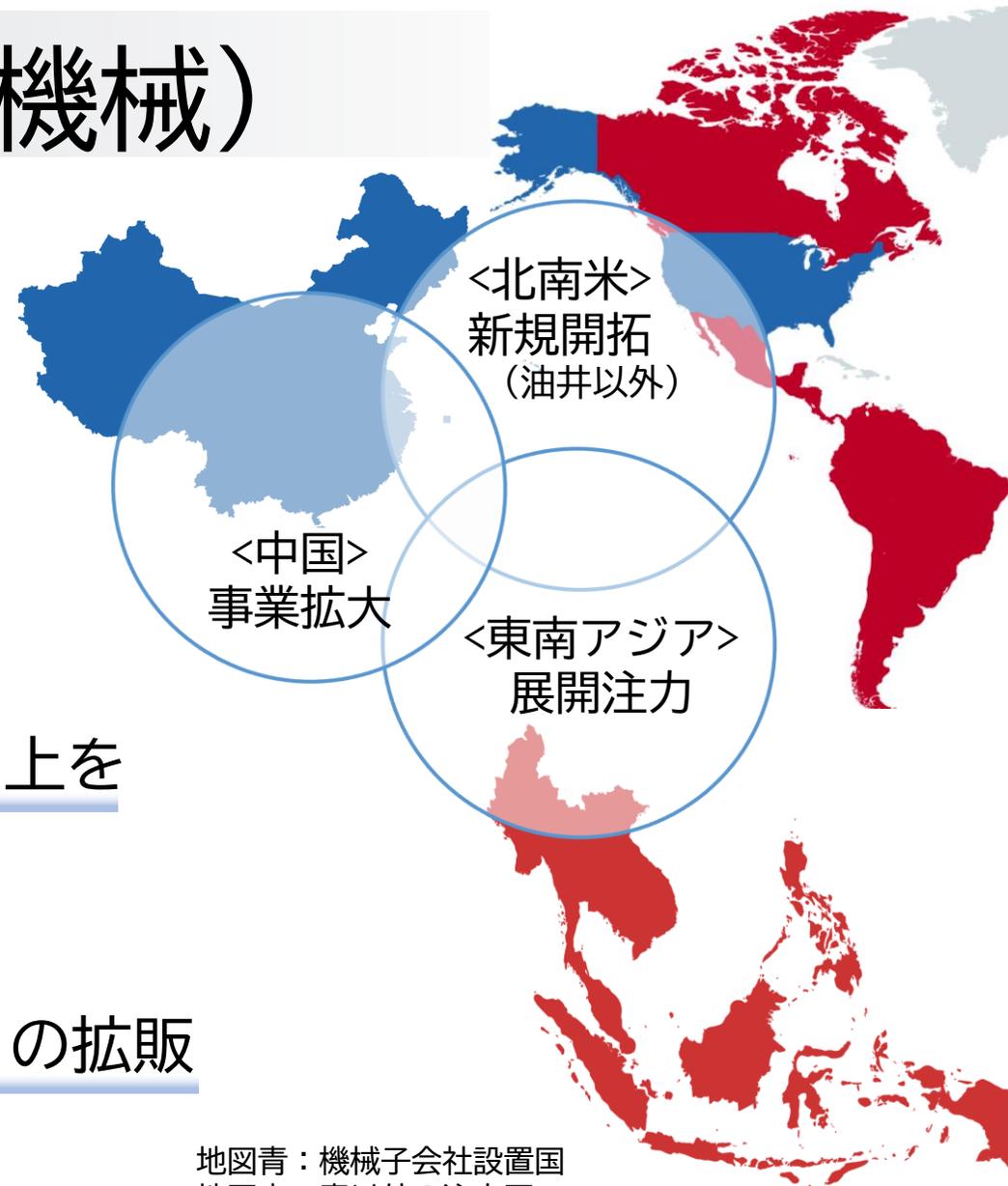
- 中国における事業拡大
- 北南米における新規市場開拓（油井以外）
- タイ、ベトナムを中心に東南アジア諸国への展開注力

②更なる収益性向上への取り組み

- 営業、生産両部門に亘る高効率化・生産性向上を
目指した構造改革とコストダウンの推進

③環境負荷低減への取り組み

- 低動力型高効率遠心分離機（HEDシリーズ）の拡販
- 更なる省電力型脱水機の開発促進



地図青：機械子会社設置国
地図赤：青以外の注力国

中期経営計画 事業別（化学品）

①海外事業の拡大継続

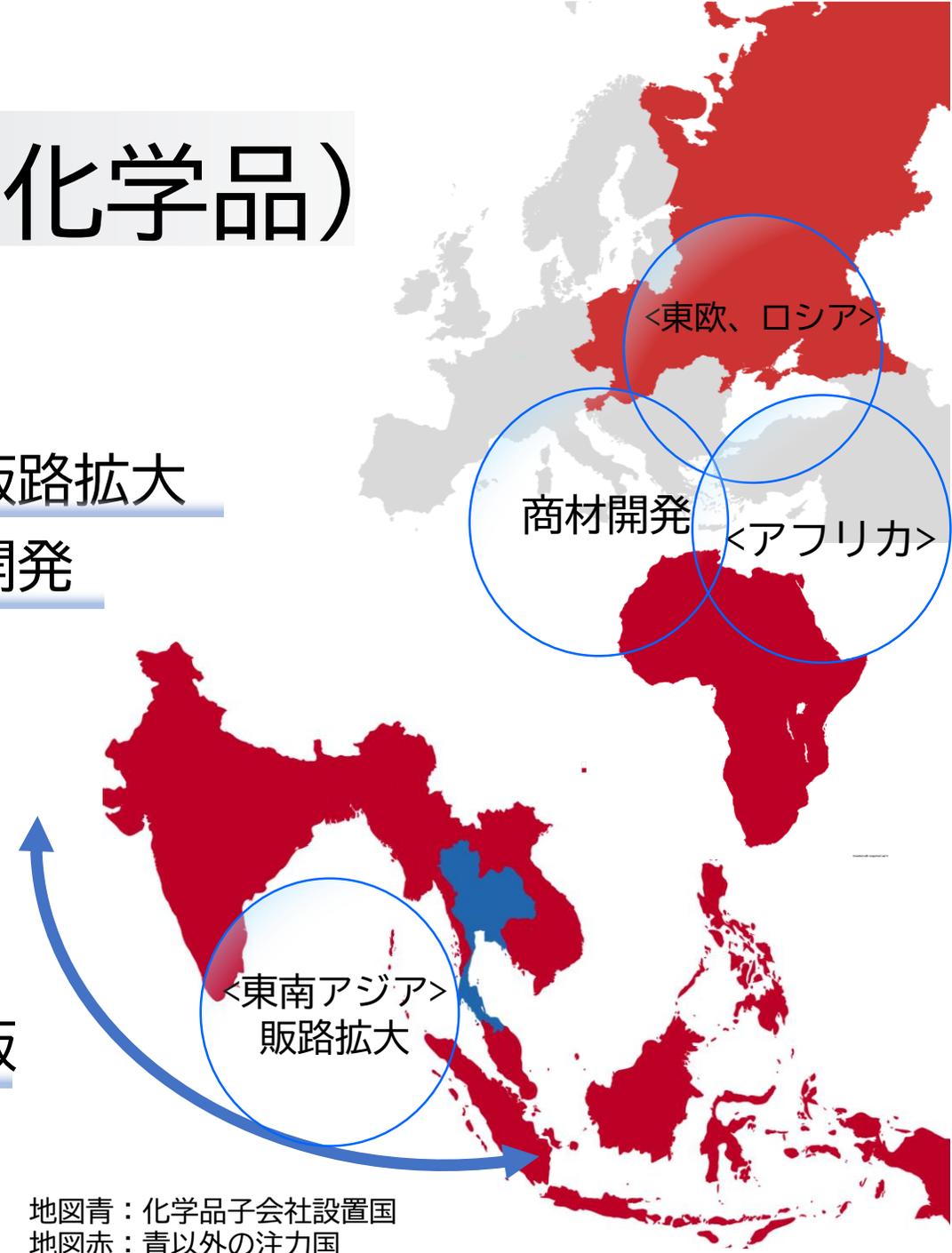
- ・ タイ現地法人を軸に東南アジア周辺国への販路拡大
- ・ 東欧、ロシア、アフリカ諸国における商材開発

②更なる収益性向上への取り組み

- ・ 工業材料部門の強化⇒鉱産部の創設
- ・ 開発部による新規市場と顧客開拓の加速

③環境負荷低減への取り組み

- ・ 環境対応樹脂（生分解、自然分解）等の拡販



中期経営計画 事業共通

①将来の成長に資する投資

- 成長分野への人材投入
- 工場設備の整備・拡充
- 新製商品の研究開発
- システムインフラの強化
- 企業買収、業務提携（M&A）

②資本効率の改善

- 積極投資による収益拡大
→ROEの着実な改善

③働き甲斐のある職場環境の構築

と人材育成

- コンプライアンスを意識した透明性の高い経営の実践
- 働き甲斐のある良好な職場環境の整備
⇒これらを基盤にグローバル人材の育成と将来を担う幹部社員の育成に継続注力。